

日本美術を解剖！

うつす・写す・映す

- 主催 福井市立郷土歴史博物館
- 会場 松平家史料展示室
- 会期 平成28年11月26日(土)
～平成29年1月22日(日)
休館日：12月12日(月)、13日(火)、
28日(水)～1月4日(日)

日本美術を自由に楽しむための鍵を探す「日本美術を解剖！」シリーズの第二弾です。

本展示では、さまざまな美術工芸品に見られる“うつす”という行為を通して、日本人の価値観の一端と、その表現方法の変化を見ていきます。

●さまざまな“うつす”

習字で、お手本をうつして書いたという経験はありませんか？マンガの絵をうつしてみたことはありませんか？

第1章では、江戸時代から明治時代にかけての美術工芸品や史料に見られる“うつす”をご紹介します。物語文学を書きうつした写本や、書の手習い（習字）、写経、中国の明時代の銅器をうつした道具、アメリカ人のペリーの顔をうつした似顔絵など、美術工芸品にはたくさんの“うつす”が見られます。

現在のように、カメラもコピー機も、3Dプリンタもない時代に、人は手間ひまをかけて、さまざまなモノをうつしてきました。ここでは、日本人が何をうつす価値のあるものと捉えてきたのか、ぜひ想像をめぐらせてご覧ください。



異本住吉物語写本 麗照院筆

●写真との出会い —影をうつす—

幕末から明治時代にかけては、日本が長い鎖国から開国し、外国（特に西洋）の人との交流が活発になりました。そして、たくさんの新しいモノが輸入されました。そのような時代に、日本人の視覚（モノの見方）を変える大きな出会いがありました。写真との出会いです。

第2章では、文久3年（1863）に、福井藩に初めてやってきた記念すべきカメラと初期のガラス写真をご紹介します。



堆朱カメラ 笠原白翁旧蔵

●変わる絵画 —写真をうつす—

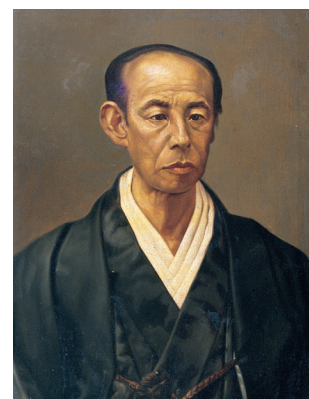
モノの陰影や位置関係を正確にうつしとることができる写真は、日本人のモノの見方を大きく変えたと考えられます。その変化がよくわかるのが絵画です。江戸時代以前から続く日本の絵画では、粉本（お手本）を忠実にうつして、筆の使い方や人物・山水の表現方法を身につけ、それを元に新たな絵を制作していく、という絵画表現が主流でした。

そこへ、現実世界の視界を正確にうつしとった写真が登場します。写真の画像をそのまま、絵画に表現するということが試みられるようになります。その様子が顕著に見られるのが、人物をうつした肖像画です。

最後の章では、幕末の福井藩主・松平春嶽と、その重臣・中根雪江の写真、そして、その写真をうつしとるように描かれた2種類の肖像画をご覧ください。



松平春嶽肖像写真



松平春嶽像（油画）

展示資料目録

1章 さまざまな“うつす”

1	源氏物語写本	賀茂真淵写	2冊	春嶽公記念文庫	江戸時代中期（18世紀）	23冊のうち
2	源氏物語写本 「うす雲」	伝、二條為定写	1冊	越葵文庫 当館保管		
3	源氏物語写本 「あさかほ」	伝、後伏見院写	1冊	越葵文庫 当館保管		
4	異本住吉物語写本	麗照院	1冊	越葵文庫 当館保管	江戸時代中期（18世紀）	
5	「千字文」手習い	松平春嶽	1冊	春嶽公記念文庫	天保6年（1835）8月	奥書「天保乙八月 錦之丞 八歳書」
6	習字手本	松平春嶽	1枚	春嶽公記念文庫	明治21年（1888）	
7	「護念経」写経	松平春嶽	1巻	春嶽公記念文庫	慶応2年（1866）11月	
8	籠型香炉		1基	春嶽公記念文庫	江戸時代（18～19世紀）	銘「大明宣徳年製」
9	花丸文大手炉		1基	春嶽公記念文庫	江戸時代（18～19世紀）	銘「大明宣徳季製」
10	ペリー挿絵図		1枚	春嶽公記念文庫	江戸時代末（19世紀）	『合同舶入相秘記』巻3
11	アダムス挿絵図		1枚	春嶽公記念文庫	江戸時代末（19世紀）	『合同舶入相秘記』巻3
12	アダムス挿絵図		1枚	春嶽公記念文庫	江戸時代末（19世紀）	『合同舶入相秘記』巻4
13	アダムス子息挿絵図		1枚	春嶽公記念文庫	江戸時代末（19世紀）	『合同舶入相秘記』巻4
14	アダムスと子息の図		1幅	春嶽公記念文庫	江戸時代末（19世紀）	ペルリ来航関係史料のうち

2章 写真との出会い ―影をうつす―

15	堆朱カメラ		1台	当館	江戸時代末（19世紀）	笠原白翁旧蔵
16	笠原白翁肖像写真		1枚	当館		元治元年（1864）撮影の複写
17	中根牛介肖像写真 （ガラス湿板）		1枚	当館	江戸時代末（19世紀）	
18	松平春嶽肖像写真 （ガラス湿板）		1枚	当館	江戸時代末（19世紀）	
19	勇姫肖像写真 （ガラス湿板）		1枚	春嶽公記念文庫	慶応3年（1867）	
20	青松院肖像写真 （ガラス湿板）		1枚	春嶽公記念文庫	慶応3年（1867）	

3章 変わる絵画 ―写真をうつす―

21	菱川師宣画粉本	菱川師福	1枚	当館	明治時代（19世紀）	
22	浅井長政夫人像模本	菱川師福	1幅	当館	大正～昭和時代（20世紀）	
23	百将図粉本		1枚	個人蔵	江戸時代（19世紀）	
24	鯉図	市川德行	1幅	春嶽公記念文庫	江戸時代後期（19世紀）	
25	金屋家十代主座像		1幅	個人蔵	江戸時代（17世紀）	
26	松平春嶽像（油絵）	佐々木長淳・三六	1額	春嶽公記念文庫	明治17年（1884）	
27	松平春嶽像	波々伯部捨四郎	1幅	越葵文庫 当館保管	明治25年（1892）	
28	松平春嶽肖像写真		1額	春嶽公記念文庫	明治17年（1884）	
29	中根雪江肖像写真	内田九一	1枚	春嶽公記念文庫	明治2年（1869）11月25日	
30	中根雪江像	波々伯部捨四郎（繁）	1幅	越葵文庫 当館保管	明治23年（1890）	明治23年2月11日讃（富田厚積撰、萩野秋雄筆）
31	中根雪江像（油絵）	亀井竹二郎	1額	当館	明治時代（19世紀）	

※ 写真作品は、資料保存のために展示替えを行いません。

【関連イベント】

ギャラリートーク 11月27日（日）、12月17日（土）、
1月15日（日） ※午後2時より30分

講座「日本美術に見られる『うつす』ということ」
1月22日（日）午後2時～4時

【次回の展示】

<企画展> 橋本左内って
知ってるかい？

平成29年1月25日（水）～
3月21日（火）

松平家史料展示室 展示解説シート No.101
平成28年11月 日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3丁目12-1
電話 (0776) 21-0489 FAX (0776) 21-1489
担当 佐々木佳美

印刷 宮本印刷